

### 1 改修等の基本的な考え方（公共施設の目標耐用年数検討プロジェクト検討結果）

- ①だれもが安全で安心して利用できる施設
- ②まちとのつながりを持ち愛着を持たれる施設
- ③費用対効果の高い経済性に優れた施設

### 2 武蔵野市文化振興基本方針 [2018]

- (1)誰もが芸術文化を享受できる機会をつくる
- (2)芸術文化を身近に体験、活動、交流できる環境をつくる
  - ・子どもたちが自由な創造性を自ら育てていけるような、様々な環境をつくる。
  - ・市民が自発的に、かつ自由に体験・活動できる環境をつくる。
- (3)地域の芸術文化資源を活用し、それを活かすまちにする
  - ・文化施設以外での公共施設や公共空間で芸術文化事業を実施することで、多様な人が施設を訪れたり、新しいつながりが生まれることが期待される。
- (4)市民、民間企業、NPO、専門家、行政等の文化振興のための連携をすすめる
  - ・まちの魅力を地域の芸術文化資源として捉え、様々なチャンネルやネットワークを使い、その魅力を発信し、まちの活性化につなげていくことが求められる。
- (5)将来の武蔵野市の芸術文化のあり方を考えていく機会を提供する

### 3 武蔵野市文化施設の在り方検討委員会報告 [2021]

#### (1) これからの文化施設に求められる機能

- ①多様性を認め合う支え合いのまちづくり（長期計画 基本目標 1）
 

文化は多様な人々の潜在的嗜好や可能性を引き出す側面を持ち合わせている。こうした潜在的嗜好や可能性を表現したり発信したりしていく上で、文化施設の果たす役割は重要である。
- ②未来ある子どもたちが希望を持ち健やかに暮らせるまちづくり（長期計画 基本目標 2）
 

子どもたちがこのような〔芸術文化の〕分野で様々な体験をすることは、将来の心豊かな人生をもたらすだけでなく、多様な価値観の中で折り合いをつけながら自分なりの答えを見つけていくための能力を獲得していくことにもつながるだろう。
- ③コミュニティを育む市民自治のまちづくり（長計 基本目標 3）
 

文化施設が重視すべきことは、I C Tを最大限に活用することとともに、文化の享受や創造に関わることが困難な人への配慮である。それは個人単位の欲求を満たす場にするというよりは、むしろ同じ場所・時間において体験や記憶を共有し、文化を築いていく場にしていくことである。
- ④このまちにつながる誰もが住み・学び・働き・楽しみ続けられるまちづくり（長計 基本目標 4）
 

経済効果を持続させるためには、来街者を維持し、回遊を誘導していく文化施設という装置も有効である。

#### (2) 当面の文化施設の活用等について

- ・(公会堂は) 引き続きこのエリアにおいて市民文化の交流拠点・発信拠点としての機能を有していくことが期待される。
- ・(会議室は) 文化施設の中に併設されている会議室ならではの相乗効果を生み出す利用方法等も検討しながら、制度や備品等を整えることにより、可能な範囲で、芸術文化的な活動にも利用しやすくなるように検討していく必要がある。